

教科名	体 育	科目名	スポーツⅢ（２・３年次）【４単位】	
授業形態	実技			
選んでほしい生徒	スポーツ系列の生徒が望ましい。			
科目の目標	武道の特性についての理解や課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、その技能を発揮して試合をすることができる資質や能力を育てる。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己に適した目標や課題を持ち、互いに協力し合って計画的に練習や試合ができる。 2 武道に対する伝統的な考え方を理解し、それに基づく行動の仕方を身に付ける。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【2年次】 柔道、なぎなた、弓道、剣道、レスリング</p> <p>【3年次】 なぎなた、レスリング、弓道、柔道、剣道</p>		<p>・武道の特性について理解を深めるとともに、「礼」のこころを学ぶ。すなわち、単なる礼儀作法を身に付けるに止まらず、対人的技能を学ぶなかで、相手を認め、思いやるこころを育てるなど、人格形成にもつなげていく。</p>	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
	<p>・武道の特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わえるよう伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、進んで練習や試合に取り組もうとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、禁じ技を用いないで安全に練習や試合を行おうとする。</p>	<p>・自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方を工夫する。</p>	<p>・選択した武道種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、相手の動きに応じた攻防を展開して練習や試合ができる。</p>	<p>・選択した武道種目の特性や学び方、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、試合や審判の方法を理解し、知識を身に付ける。</p>
上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 武道の特性について理解を深め、課題を解決するとともに、意欲的な活動に取り組もう。 2 武道種目の特性に応じた技能と審判法を習得できるようにしよう。 3 「礼」のこころに対する理解を深め、相手を認め、思いやるこころを育てよう。 4 公正・協力・責任など社会的な態度や安全に留意する態度を身に付けよう。 			
教材費	特になし			
その他	特になし			